

今後の取組内容について

1 学校給食費の公会計化について

文部科学省では、「学校給食費等の徴収に関する公会計化等の推進について」及び「令和3年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果等に係る留意事項について」などの通知により、教員の業務負担軽減の観点から、学校給食費については、公会計化を推進しています。西東京市においても公会計化の導入方法や時期等について検討を進めています。

(1) 学校給食費の公会計化とは

学校給食費の徴収・管理業務を市に集約することを「給食費の公会計化」と言います。私会計で行っている、給食費の徴収や滞納者への督促など、一連の管理業務を市が担います。

(2) 目的

- ① 教員が該当業務から解放されることにより、負担軽減を図り、授業改善や児童生徒に向き合う時間を増やす
- ② 学校給食費の管理における透明性の向上
- ③ 学校給食費の徴収における公平性の確保
- ④ 学校給食の安定的な実施

2 給食費の改定について

平成27年度に給食費を改定して以来、令和5年度現在まで同様の給食費となっています。(資料6「西東京市の学校給食についての概要」P2参照)

物価高騰が続く中、現在の給食費で引き続き給食提供が可能であるか、検討していく必要があります。

3 地場農産物の使用率の向上について

地産・地消の取り組み、食育の観点から、地場農産物の使用率の維持や向上に向けて、その方法を検討する必要があります。